様式第１号の別紙１の別添５

二酸化炭素排出削減効果量

○前提条件

　※二酸化炭素排出量単位は t-CO2 と記載すること。

製品1個の二酸化炭素排出量が10kgの場合は、0.01 t-CO2となる。

　※**使用電力に対する二酸化炭素排出係数は0.000438 t-CO2/kWhとする。**

　　また、その他の二酸化炭素排出係数は環境省　温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度の算定・報告・

公表制度における算定方法・排出係数一覧のとおりとする。

（URL　<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>）

二酸化炭素排出削減量の算定に必要な条件等を記載すること。出典がある場合は記載すること。

また、

（例）

・製品１個の平均重量の定義

・製品に使用される材料、製品の成分比率の定義

○従来技術と新技術での単位当たりの二酸化炭素排出量の算定について

≪従来技術の場合≫

単位について：技術開発する対象に合わせて適切な単位を使用してください。（製品あたり、稼働時間あたり等）

（例）

従来技術での製品1個あたりの二酸化炭素排出量について

①（加熱時）0.49kJ/（kg/℃）［鋼材比熱］×400kg［金型］×100℃［温度変化量］÷120sec［昇温時間］×120/3600［sec/h］ ＝5.444kWh/個

②（冷却時）0.49kJ/（kg/℃）［鋼材比熱］×400kg［金型］×100℃［温度変化量］÷180sec［昇温時間］×180/3600［sec/h］ ＝5.444kWh/個

①＋②＝製品1個あたりの二酸化炭素排出量＝10.89kwh×0.000438 t-CO2/kWh＝4.770×10-3(t-CO2)

≪新技術の場合≫

　≪新技術達成による単位当たりの二酸化炭素排出削減量≫

○事業終了後5年間における市場展開について

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 全体 |
| 販売数量・  稼働時間等  （　　） |  |  |  |  |  |  |
| 売上額  (千円) |  |  |  |  |  |  |
| CO2排出量  (t/CO2) |  |  |  |  |  |  |
| CO2削減量  (t/CO2) |  |  |  |  |  |  |